

新庄市議会だより

No.160
2023.5.11

市内にお住まいの、
三世代のご家族
(四世代)
シリーズ!!

**昭和、平成、令和へと！
みんな笑顔で、「ハイ」ポーズ！**

3月定例会の議案等 …… P2～P3
令和5年度予算の決定 …… P4～P6
ふるさと納税について …… P7
一般質問 …… P8～P11
令和4年度政務活動費の報告 …… P12～P13

野中地区在住の今田さんご一家です。春からはひいおばあちゃんも戻ってきて、さらににぎやかになります！

新庄市議会だよりの表紙を、「市内にお住まいの、三世代（四世代）のご家族シリーズ!!」で、三世代以上のご家族の写真を掲載させていただきます。

1月臨時会の経過

1月26日、一般会計補正予算1件を原案のとおり可決し閉会しました。

1月臨時会で審議された議案

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
議案	第1号	令和4年度新庄市一般会計補正予算(第10号)	可決

3月定例会の経過

令和5年3月定例会では、初日、報告2件を了承し、人事案件2件に同意し、議会案1件、議案2件、令和4年度補正予算6件を原案のとおり可決しました。

最終日には令和5年度予算7件、議案12件を原案のとおり可決しました。また、追加提案された令和4年度補正予算1件を原案のとおり可決しました。

3月定例会で審議された議案等

種類	番号	件名	結果	
【市長提出】				
報告	第1号	新庄市土地開発公社の経営状況の報告について	了承	
	第2号	損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	了承	
諮問	第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意	
	第2号	令和4年度新庄市一般会計補正予算(第11号)	チョイス① P7 可決	
議案	第3号	令和4年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算(2号)	可決	
	第4号	令和4年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	可決	
	第5号	令和4年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	
	第6号	令和4年度新庄市水道事業会計補正予算(第3号)	可決	
	第7号	令和4年度新庄市下水道事業会計補正予算(第4号)	可決	
	第8号	令和5年度新庄市一般会計予算	可決	
	第9号	令和5年度新庄市国民健康保険事業特別会計予算	可決	
	第10号	令和5年度新庄市交通災害共済事業特別会計予算	可決	
	第11号	令和5年度新庄市介護保険事業特別会計予算	可決	
	第12号	令和5年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	
	第13号	令和5年度新庄市水道事業会計予算	可決	
	第14号	令和5年度新庄市下水道事業会計予算	可決	
	第15号	新庄市教育委員会教育長の任命について	同意	
	第16号	財産の処分について	チョイス② P7 可決	
	第17号	財産の取得について	チョイス③ P7 可決	
	第18号	権利の放棄について	可決	
	第19号	新庄市個人情報の保護に関する法律施行条例について	可決	
	第20号	新庄市犯罪被害者等支援条例について	可決	
	第21号	新庄市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について	可決	
	第22号	新庄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	可決	
	第23号	新庄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	
	第24号	新庄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	
	第25号	新庄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について	可決	
	第26号	新庄市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	
	第27号	新庄市夜間休日診療所設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	可決	
	第28号	新庄市体験農園の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	可決	
	第29号	新庄市水道給水条例の一部を改正する条例について	可決	
	第30号	令和4年度新庄市一般会計補正予算(第12号)	可決	
	【議員提出】			
	議会案	第1号	新庄市議会の個人情報の保護に関する条例について	可決

議案に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案等をお知らせします。 ○→賛成 ●→反対

議案等番号	会 派 名	市民・公明クラブ			起新の会			絆の会			勤草21		採決結果			
		佐藤卓也	小野周一	高橋富美子	山科正仁	石川正志	小嶋富弥	山科春美	庄司里香	今田浩徳	下山准一	奥山省三		八畝長一	新田道尋	佐藤悦子
議案第8号	令和5年度新庄市一般会計予算	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	可決
議案第12号	令和5年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第17号	財産の取得について	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	可決
議案第19号	新庄市個人情報の保護に関する法律施行条例について	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決

※議長は採決に参加しません。

総務文教常任委員会報告

議案第18号 総務文教常任委員会の主な質疑

● 権利の放棄について

Q 基金の取り崩しに係る市町村の負担割合はどうなっているのか。

A それぞれの市町村が積み立てたときの割合に応じて計算している。

Q 基金の積立て時の割合と消防庁舎建設の負担割合は一致しないという点でよいのか。

A 積立て時の割合と消防庁舎建設の負担割合は異なる。

※本議案は、新庄市が最上広域ふるさと市町村圏基金に対する出資金の権利について、最上広域市町村圏事務組合が実施する新消防庁舎建設関連事業の経費に充てるため、に放棄するものである。

産業厚生常任委員会報告

議案第24号 産業厚生常任委員会の主な質疑

● 議案第24号 新庄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

Q 安全計画については、施設ごとに違うのではどうかと思う。市と連携をとりながら、一律の対応をすべきと考えるが、どのような体制がとられるのか。

A 公立の施設の支援員の方には、説明会において今後の安全計画の立案の必要性、作り方を細かく丁寧に説明し、指導させていただいたところである。民間施設についても、同様に行っている。

Q 安全計画の策定等については経過措置を設けるとのことだが、児童の安全に直結することであるため、スピード感をもって対応すべきと考えるがいかがか。

A 猶予期間はあるものの、できるだけ早く策定していただくよう伝達している。安全計画については、必ず設置、運用していただくよう、今後も働きかけていく。

● 議案第27号 新庄市夜間休日診療所設置及び管理に関する条例を廃止する条例について

Q 県立新庄病院へ機能移転した後の費用負担として、710万円を1年間の負担金とするということだが、新庄市単独で夜間休日診療所を維持する場合は、事業費はどの程度であったか。

A 事業費として3000万円ほどがかかってはいたが、現時点では約700万円程度ということで協議されている。負担金については、今後も状況を見ながら県と検討を継続していく。

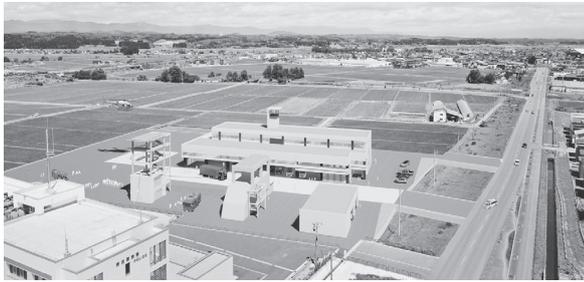
● 議案第29号 新庄市水道給水条例の一部を改正する条例について

Q 相手の同意がなくても他人の土地に給水管を引くことができるということか。

A 今回の民法改正により、同意を得なくても通知を行えば土地を使用することができるようになる。なかなか同意が得られず、使うことができなかったケースを救済するものであり、民法に沿って条例改正を行うものである。

Q 同意が得られなくても通知を行えばよいという解釈になるが、住民間のトラブルについてはどのように考えているか。

A 仮にトラブルが発生した場合、民法上、市では介入できず、当事者間での話し合いになると考えている。



新消防庁舎完成イメージ図

会計予算は、



10日



13日



14日

万円に決定

(山科正仁委員長) で令和5年3月10・13・14日の3日間審査しました。



かむてん © 新庄市×富樫義博

審議された議案等

予算特別委員会

チョイス(ふるさと納税等)

一般質問

政務活動費

一般会計

【歳入】

たばこ税

Q. 調定見込額で本数見込、見込金額が増え、昨年度より5300万円増えているが、どのように見込んでいるのか。

A. 全国的には売上本数及び金額が減少傾向にあるが、本市を含め最上郡内においては令和3、4年度は増加傾向にあるため、このことを踏まえて予算編成を行った。たばこを販売している場所が増加していること、加熱式たばこの増加が要因であると分析している。

保育所入所負担金

Q. 保育所入所負担金が昨年度と比較して減少しているが、どのような理由か。また、滞納金をどのように回収していくのか。

A. 3〜5歳と0〜2歳児での非課税世帯の保育料を無償化しているためである。滞納については、保護者と連絡を取りながら早期の納付をお願いしていく。

弁償金

Q. 行政代執行により解体された北本町アーケードの撤去費用5251万4000円の納付金額は、どの款

項目に計上されているのか。

A. 令和4年度分の支払金額については、市として全額の納付を要求してきたが、40万円の納入であった。残額については、滞納繰越として令和5年度の歳入となる。現在進めている解体の費用については、金額が確定してからの徴収になると考えている。今後も、費用の回収に向けて請求を続けていく。

【歳出】

職員研修事業費

Q. 現在、問題が指摘されている(株)電通に研修派遣を実施しているが、令和5年度も派遣する予定であるか。

A. 別の派遣先を早急に検討して、職員の意欲に応えたい。

結婚新生活支援事業

Q. 新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活スタートアップに係る費用を支援する事業であるが、昨年度の3倍の予算とした理由と見込数を伺う。

A. 令和4年度は所得要件が夫婦合計で400万円未満だったが、令和5年度は500万円未満に緩和されることとなった。また、補助上限額が夫婦ともに39歳以下で30万円というところが、29歳以下の場合には60万円に引き上げになること、制度が

ふるさと納税について

徐々に周知されていることを加味して予算編成を行った。件数としては、29歳以下の夫婦で21件、39歳以下の夫婦で9件と見込んでおり、予算額を1530万円とした。

Q. 返礼品業者の選定について県内他市でも問題となっているが、当市においては透明性の確保の点で問題はないか。

A. 新庄市においては、事業者登録の際に書類を提出していただくとともに、聞取り等も行う中で確認を実施している。県内で事業所が市内になかった事例があったが、会社の所在地が新庄市内にあるかどうかについては登録時に確認を行っている。

地域おこし協力隊について

Q. 地域おこし協力隊の令和5年度の配置予定を伺う。

A. 現在7名の協力隊員がおり、そのうち1名が令和4年度末で退任予定である。現在各課で必要に応じて募集を行っているが、令和5年度の正確な人数は今のところ不明である。

マイナンバーカードについて

Q. 本市住民のマイナンバーカードの交付率を伺う。

A. 令和5年2月末時点でのマイナンバーカードの交付率は68.8%、

総額

190億7,900

予算特別委員会

申請率は84・1%となっており、2月末までの締切までに駆け込みで申請していただいた方が多かった。来年度以降は、来庁が困難な方に対し、市が出向いて申請を受け付けることで、交付率の向上につなげたい。

ハンドル型電動車いす購入費等助成金

Q. ハンドル型電動車いす購入費等助成金について事業内容を問う。

A. ハンドル型電動車いす購入に対する金額、または年間のレンタル料に対して、上限5万円を補助する事業である。

子育て支援医療給付事業

Q. 子育て支援医療給付事業の内容と、その拡大対象を問う。

A. これまで、中学3年生までのお子さんの保険診療にかかる自己負担額を無料化していたものを、新たに18歳までに拡大するものである。

堆肥製造業務委託料

Q. 堆肥製造業務は永年の継続事業であるが、効果が表れないので見直しを図るべきと思うがいかがか。

A. 事業を続けるためには、施設の老朽化への対応が必要となる。事業の方向性については、利用者や環境審議会等のご意見をお聞きしながら検討していく。

航空レーザー測量共同実施負担金

Q. 航空レーザー測量共同実施の内容を問う。

A. 新庄市、舟形町、鮭川村、戸沢村の4市町村共同で行うものであり、飛行機を活用して上空から写真を撮影し、樹種や樹齢、本数、地形の高低等をレーザー測量によって解析し、重点的に管理していく箇所の調査を行う。また、解析結果を活用して、今後の森林整備に役立てていくものである。

Q. 4市町村で共同で実施していくとのことだが、当市の負担や面積はどうなるのか。

A. 4市町村の合計が15861ヘクタール、うち新庄市の面積は4818ヘクタールであり、負担金額は1672万円を予定している。

エコロジーガーデン推進事業費

Q. エコロジーガーデンの活用を道の駅と同様に整備していくのか。また、ソフト事業の充実をどのように行うのか。

A. 道の駅の大規模駐車場を十分に活用できるような整備を進めていきたい。新庄市エコロジーガーデン第5期利用計画においても、北川エリアの活用を含めた様々な事業展開を考えている。民間の方々のご協力を得ながら事業を進めていきたい。

IC付近道の駅

Q. インターチェンジ付近道の駅に関する協議はどう進んでいるのか伺う。

A. 最上郡内8市町村及び最上郡の商工団体、国や県を委員として、現在協議を進めている。令和4年度から令和5年度にかけて基本構想を固める計画としており、必要な項目について事務局や作業部会の中で協議・調整を行っている。

空き家等除却支援事業

Q. 新たに空き家等を除却する費用の一部を補助する事業と聞いているが、詳細を問う。

A. 1つは、老朽化して崩壊の危険性がある管理不全空き家について、除却費用の一部を100万円を上限として補助するものである。もう1つは、それほど古くなっていない空き家の除却について、1件あたり10万円を10件分予算化した。老朽化が著しいものだけではなく、空き家を除却したいという希望があった場合に補助することで、空き家の除却、また、除却後の土地の利活用を促していく。



準学生寮供給促進事業費補助金

Q. 昨年、空き家の持ち主にに向けた説明会を開催したが、その後の進捗状況を伺う。

A. 説明会后、8件ほどのエントリーがあった。その後、物件ごとに協定を結んでいる県、山形県住宅供給公社、市で、物件の調査、オーナーとのヒアリングを実施した。その中で、事業の考え方を改めて相談している状況である。

非常備消防費

Q. 昨年度、消防庁通達に従い最上7町村で団員報酬を増額しているが、当市で団員報酬の増額を予算要求しなかった理由と増額時期について伺う。

A. 現在、消防団員の定数について、団の方で検討していたいただいているところであり、できるだけ早い時期での改定を目指したいと考えている。

防災士連絡会運営交付金

Q. 防災士連絡会運営交付金の内容と、自主防災組織と防災士の連携について伺う。

A. 防災士連絡会運営交付金は、地域の防災力を高めるために防災士の活動を支援し、地域の防災活動と被災時の対応に積極的に関わっていただこうとするものである。防災士の

方々と地域の自主防災組織の連携強化を図りながら、地域の防災力の向上に努めたい。

通学手段確保対策事業

Q. 通学手段確保対策事業補助金についての詳細と、今後の拡充を問う。

A. スクールバスの距離要件を満たす地域において、路線バスを利用し通学している児童生徒への補助である。今後の拡充については、通学プランの基準の全体的な見直しにも関わることから、教育関係者、学校関係者の意見を伺いながら、引き続き検討を進めていきたい。

北辰小学校解体工事業実施設計業務委託料

Q. 解体に向けた地域との協議の進捗状況を伺う。

A. 体育館は残してほしいという要望があったため、現在、社会教育施設として供用している。敷地全体については、広場として使用する方向性だったが、こちらも体育施設という方向で検討を進めている。解体にあたっては、地元の方々の意見を尊重しながら進めていく。

学校給食費補助金

Q. 学校給食は少子化対策として全員無償化し、必要予算1億5000万円は他の事業を圧縮してでも捻出

すべきと思うかがか。

A. 来年度については、物価高騰における多子世帯への対応を最優先に考えた。新規事業であるため課題等が出てくるのが考えられるが、足りない部分も含めて評価を行いながら、今後についても支援の検討を行う。

国民健康保険事業特別会計

国民健康保険税(滞納繰越)について

Q. 所得100万円未満の世帯数が他市と比べて多いが、その理由は何か。

A. 所得が少ない層の加入が増えていること、景気の回復に伴って社会保険の加入者が増加傾向にあることから、所得100万円未満の滞納者が多くなったものと考えている。

傷病手当金について

Q. コロナに感染した場合の傷病手当金の支給状況と、今後の見通しを伺う。

A. 令和5年2月末現在で、国民健康保険で10件、約34万円の支給を決定している。国では、5類への引下げに伴い、傷病手当金の支給対象期間を5月7日までとしていることから、新庄市においても国の方針にならって対応していく。

介護保険事業特別会計

障がい者控除認定について

Q. 介護認定者のうち、障がい者控除認定者数は、介護負担軽減のため、市で把握する該当者に認定書を送付すべきではないか。

A. 介護認定者のうち障がい者控除の認定書は43件発行している。すべての方が該当するということではなく、その方の状況によるため、市報やお知らせ版に掲載して周知を図るとともに、窓口いらっしやった方への丁寧な説明を行う。

介護職員不足の解消について

Q. 介護職員不足や、他市町村に勤める介護職員も多数いると言われて久しい。介護職員の待遇の改善及び介護施設入居者定数の増加に向け、他県より入居者を募ることはどうか。

A. 様々な形で検討が必要だと思いが、今後も介護の人材不足の解消に努めていく。



ふるさと納税について

○ふるさと納税とは

都市部に一極集中する人材・物資・資産などを地方へと分散させ、地方の活性化を図る目的で始まった制度で、次のようなメリットがあります。

- ① 寄附金の使い道を指定することで、寄附先の自治体の特定事業を応援することができます。
- ② 寄附の返礼品として、その地域の特産物などを受け取ることができます。
- ③ 寄附額に応じた税額控除を受けることができます。

※住民登録をしている自治体にふるさと納税をしても、返礼品を受け取ることができません。

新庄市では、令和4年度に約9万件・約10億円のご寄附をいただきました。

返礼品をジャンル別で見ると、米が1位となっており、次いで牛肉、惣菜・野菜類が続いています。

これからも、ふるさと納税制度を通じて新庄市の魅力を全国に発信していけるよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

○企業版ふるさと納税（地方創生活援税制）とは

国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生

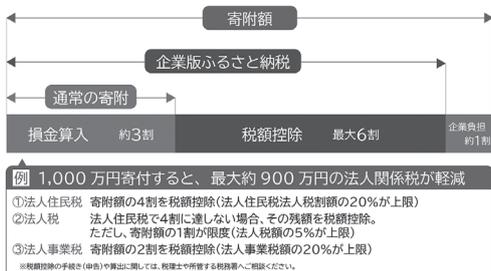
プロジェクトに対して、企業が寄附を行った場合に法人関係税から税額控除される仕組みのことです。

本制度を利用して寄附すると、最大で3割の損金算入を加えた、9割の法人税が軽減されます。

新庄市では、令和3年度に寄附受け入れを開始して以降、6社の企業様よりご寄附をいただきました。いただいたご寄附については「まち・ひと・しごと創生プロジェクト」に掲げる、次の4つの基本目標に基づいた事業に活用しています。

- ① 若い世代の移住・定住を促進する
- ② 社会全体で結婚・妊娠・出産・育児・教育を応援する
- ③ 超高齢社会における安心な暮らしを確保する
- ④ 地域産業の持続的発展と安定的な雇用を確保する

市外に本社を置く企業が、本市に対して利用できる制度となっています。こちらも、新庄市の発展のためにご協力いただけますと幸いです。



財産の処分について

産業振興の用に供する新庄中核工業団地の土地を売却するため、3月議会において当該分譲地の売却のたのめ議案が可決されました。

福田山にある新庄中核工業団地において、昭和59年の分譲開始以来、多種多様な経営事業所、会社が開業してきました。

このたび、残り1区画であった〇(オー)区画52090.72平方メートルが売却され、分譲率が100%に達することとなりました。

分譲先は、同団地内で操業しているマルカ林業株式会社で、分譲予定額は2億3128万円です。

地域経済の発展に好影響をもたらす事業所となるよう、事業開始に期待が持たれました。



新庄中核工業団地

財産の取得について

これまでエコロジーガーデン周辺の駅整備事業が進められてきましたが、3月議会の初日、駐車場部分にあたる土地として、新庄市五日町字一本柳1145番地1(地積7431.19平方メートル)を2377万9808円で取得する内容の議案が上程されました。一議員より反対討論もありましたが、採決の結果は賛成10、反対3の賛成多数で可決されました。

エコロジーガーデン周辺道の駅整備事業に関しては、これまで山形県公安委員会や国との協議を経て、令和4年10月31日、国と市の一体型道の駅整備に関する3つの協定書を締結しました。

このたびの用地取得の議案の可決を受けて、令和5年度に調査設計業務と造成工事が行われ、来年度には舗装・外構工事、建物建設工事、市道改良工事などが予定されており、令和7年度ブランドオープンの予定となっています。



エコロジーガーデン

一般質問

ねえ、かむてんおしえて!

一般質問って何?

一般質問は、3月6日と7日の2日間、7名の議員が行いました。質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。

3月定例会一般質問の質問者と質問事項

小嶋 富弥

1. ふるさと納税について
2. 新庄まつりin巢鴨について
3. 歴史的風致維持向上計画について
4. 今村翔吾氏たび丸号について

山科 正仁

1. 歴史的風致維持向上計画による交流人口の拡大に向けた施策について
2. IC付近の歩行者の安全確保対策について
3. 学校給食の食材費高騰について

山科 春美

1. 高齢者支援について
2. 若者の地元企業への就職について
3. 新庄まつりの時の踊りパレードの復活について

庄司 里香

1. 新庄開府400年記念事業について
2. 今年の新庄まつりについて
3. 市民の健康と命を守るための施策について
4. 雪対策について

一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。



かむてん © 新庄市×富樫義博

今田 浩徳

1. 高速交通網整備がもたらす将来設計と課題

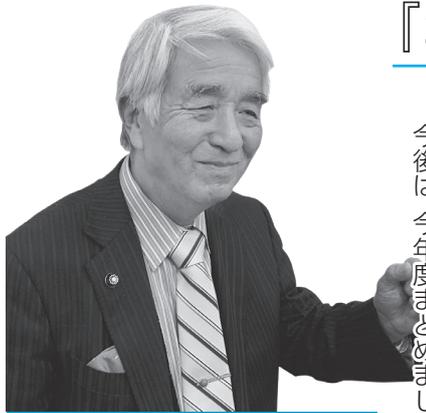
佐藤 卓也

1. これからのまちづくりについて
2. 新庄市の少子化対策について
3. 自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)について

佐藤 悦子

1. コロナ5類移行について、公的支援を縮小・廃止では、感染を抑止できないのではないか
2. 酪農・畜産への支援をどう考えているか
3. 中心商店街活性化のために
4. 介護保険の大改悪ではなく、在宅介護の利用料軽減制度が必要ではないか
5. 水道不正使用について

『わくわく感を感じる新庄市に』



小嶋 富弥 議員

◎歴史的風致維持向上計画が2月15日に国からの認定を受けました。市民は、城下の風情を醸し出す表門、隅櫓、入場橋の構築を望んでいますがいかがでしょうか。

市長 歴史的風致維持向上計画は、2月15日に、歴史まちづくり法の主務大臣である国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣より計画の認定をいただきました。この認定は、本市にとって大きな意義があり、今後のまちづくりの大きな柱になるものと考えております。

本計画においては、新庄城址である最上公園を重点区域の核となるエリアとして位置づけ、「最上公園(新庄城址) 修景整備事業」として整備していくこととしております。土橋や大手門、隅櫓の整備は、法定協議会である推進協議会の委員の方々からも同様のご意見をいただいておりますが、市民の皆さまのご理解とご協力が必要であると考えております。

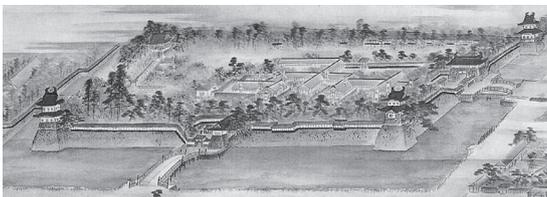
今後は、今年度まとめました「最上公園(新庄城址) 修景整備事業」

上公園(新庄城址)整備基本構想」に基づき、市民の皆さまをはじめ関係団体の皆さまからご意見をいただきながら、具体的な整備計画を策定していくこととしております。その中で、新庄開府400年記念事業と連携しながら機運の醸成を図り、城址公園としてふさわしい景観形成と公園機能の充実を図ることで、市民が誇りに思える公園にしてまいりたいと考えております。

◎この計画の認定に際し、最上公園の名称を新庄城址公園に変えるべきとの声もありますが、いかがでしょうか。

市長 他の自治体において、市民の方から要望書や陳情を提出された中で、それを議会にて採択したり、行政側で市民説明会を開催したりというように、時間をかけて行っている事例があります。

行政主導で名称を変更することではなく、市民の方からそのような要望が上がってきた中で市が動くということが非常に重要であると考えております。そのような声、動きがあれば、議会の方でも支えをお願いします。



尾形芦香 新庄城絵図 (新庄市教育委員会所蔵)



『歴史と観光のマッチング』



山科正仁 議員

◎国の認定を受けた「歴史的風致維持向上計画」と「高速道路の延伸」に伴い、観光とマッチングするための誘導策が必要と考えるがいかがか。

市長 以前より、最上地域観光協議会において、広域的な観光商品等の開発・企画、またそれらに対する助成等を実施しております。高速交通網の整備による相乗効果は大きいものと考えております。

今年度につきましては、隣県の各地域とも、協力体制が必要であるという考えのもと、湯沢市の商工会議所青年部と本市の商工会議所青年部で、広域連携として、キッチンカーのイベントを、ゆめりあにて実施していただきました。市においては、キッチンカーの取得等に対して支援を行ったところ です。

今後についても、これらの点を加味しながら検討してまいります。

◎学校給食補助事業で、第2子・第3子への学校給食の補助が実施されるが、昨今の急激な食材費高

騰に対応できる施策であるのか伺う。

教育長 令和5年度の学校給食費については、学校給食事業運営協議会において、現行の給食費では学校給食栄養摂取基準を満たした、これまでどおりの給食を提供することが難しいことから、中学校とともに30円値上げすることが適当であるとの結果が示されたところです。

現在、経済的に困窮した世帯については、就学援助費の中で給食費を全額支給しております。併せて、家庭状況の急変などにより支援が必要になった場合においても、随時、就学援助を申請いただき対応しております。

令和5年度は、義務教育期間に2人以上の児童等が在籍する世帯について、第3子以降児童等学校給食費無償化事業及び第2子児童等学校給食費半額補助事業を新たに実施する予定としております。また、第1子の子の世帯については、令和2年度から実施している、給食費1食につき小学生は15円、中学生は20円の補助金を継続して実施します。

多子世帯においては、物価高騰による家計の負担が一段と大きいと考えられることから、物価高騰による値上げ分を含む学校給食費を補助することで、子育て世帯の支援の一助となると考えております。

引き続き、物価の状況を注視しながら、必要な対策を講じられるよう検討してまいります。



『住みよさをかたちにしていくために』



山科春美 議員

◎今後、買い物弱者も増加してくると思われる中、移動スーパードと高齢者の見守りも兼ねた形で官民連携で事業を行っている自治体もあります。市としての考えを伺います。

市長 市では、一事業者との間で「新庄市高齢者・障がい者等の見守り活動に関する協定書」を締結しております。その内容は、移動スーパードの事業者が、日常業務において利用者等の異変を察知した場合、速やかに市または警察へ連絡をいただき、関係機関と連携し必要な対応を行うものとしております。これまでに支援が必要な世帯について情報共有がなされた事例もあり、高齢者の見守り等に関して非常に重要な役割を担っていただいております。

移動スーパードについては個人事業主となりますので、事業実施に係る支援については他市の事例を参考にしながら引き続き検討してまいります。

◎職業選択を行う学生を中心とした若者世代に、いかに地元企業の魅力を発信し地元に残ってもらう

るために様々な企画を発信していますが、成果と課題、今後の取り組みについて伺います。

市長 本市においても、生産年齢人口の減少により企業等における人手不足が深刻化しており、若者世代の地元企業への就職が重要な課題であると認識しております。

本市では、人材育成や確保の具体的な取り組みとして、最上管内の高校生や、県内の大学生、高専生を対象にした企業見学会や、出張職業体験事業（Shin-job）を市内全ての中学校、義務教育学校で行っております。

「Shin-job」事業開始当時に中学1年生だった生徒のうち、高専就職希望者はこの4月から社会人となります。また、大学進学を選択された学生は社会人となるのが令和9年度となるため、事業効果が見えてくるまでは相当な時間を要することからも、人材育成には粘り強く継続した取り組みが必要であるものと考えております。

成果としましては、令和5年1月末時点の最上管内の高校生の就職内定状況が、求職者128名に対し、最上管内の企業への就職希望者は67名で、そのうち内定者は61名、内定率は91%となっております。

今後の課題としましては、この地域には高等教育機関が少ないため、高校卒業後に進学した方については、市との接点が減ってしまいます。進学先の大学等との連携はもちろんのこと、本市を離れた学生との繋がりを持てるような施策を検討してまいります。

『今年の新庄まつりについて』



庄 司 里 香 議員

◎今年の新庄まつりの通常開催に
あたり、新たな取り組み、特に各
若運の人材、財源不足に関する施
策を伺います。

市長 令和5年度の新庄まつりの
開催につきましては、コロナ禍前
の通常開催とすることが最優先で
あると考えておりますので、新庄
まつり実行委員会において協議し
準備を進めてまいります。

今年の開催における新たな取組
みについてですが、特に人材や財
源不足に関する施策として、人材
については新庄まつりサポーター
制度を新たに創出し、財源の確保
としては、企業からの支援として
の協賛金の受入れ等について検討
することとしております。

◎新庄開府400年記念事業は、
新庄まつりとのコラボレーション
等は考えているのかについてお聞
きします。

また、歌舞伎役者の方々を招待
すれば、後世に残る大イベントに

なると思いますが、どのようにお
考えでしょうか。

教育長 3年後の令和7年が新庄
まつり270年にあたるため、開
府400年記念事業とともに新庄
まつりも盛り上げていけるよう、
新庄まつり実行委員会と協議して
いきます。

市長 新庄まつりと歌舞伎関係者
の方、歌舞伎山車との関わりは密
接なものであり、過去には山車連
盟が研修事業として歌舞伎の観覧
を行ったこともございます。

今後行われる新庄開府400年
記念事業と新庄まつりとのコラボ
イベントについては、ご意見を参
考にしながら企画立案を進めてま
いりたいと考えております。

受けつぐ想いが、未来をつくる。



『高速交通網がもたらす将来設計と課題』



◎観光客の誘導・獲得に向け、民
間活力利用を含めた市の考えを伺
う。

市長 コロナ禍前の観光需要が
徐々に回復しており、観光客獲得
に向けた旅行商品づくりや受け入
れ態勢整備など、最上管内の自治
体、民間の観光会社が一丸となっ
て取り組むべきものと認識してお
ります。

本市では、観光誘客や旅行企画、
商品化のノウハウを持った観光事
業者と連携し、本市及び近隣地域
への来訪者の動向などの分析や企
画立案、誘導方法に関するアイデ
アをいただきながら観光客の獲得
につなげてまいります。

◎ふるさと納税を現地納税に向け
ての飲食店や物産店との連携をど
うとらえていくか伺う。

市長 ふるさと納税の返礼品の流
れも、モノから人やつながりなど
に流れが動いてきているという中
で、旅行者や観光客に新庄の飲食

や体験などのサービスをしていた
だくことは重要であると感じてお
ります。

こつした中で、新たな商品とし
て「さとふる」という会社とPa
y Payがコラボした、Pay P
ay商品券というものがありま
す。これは、地方自治体にスマホ
から寄付することで、寄付金額に
応じたPay Pay商品券がもら
えるというものです。この商品券
は選んだ自治体でしか使えないと
いう仕組みとなっております。

そのような中で、旅行や出張で
新庄を訪れた方が新庄市内で寄附
をしてもらい、新庄に登録してい
る店舗で使用してもらうことで非
常に効果がある仕組みであると感
じておりますので、取組みを進め
ていきたいと考えております。



今 田 浩 徳 議員



『社会全体で少子化対策を!!』



佐藤 卓也 議員



2022/12/01

◎日本では、経験したことのないスピードで少子高齢化が進行しております。今後どのような施策で少子化対策を行っていくのでしょうか。

市長 来年度からの新たな施策として、「子育て支援医療給付事業」における医療費の無償化の対象を高校3年生までに拡充するほか、

多子世帯の負担軽減を図るため、学校給食費補助事業により給食費補助を拡充いたします。また、三世帯同居、近居のための住宅を取得する子育て世帯に対しては、住宅取得費用の一部を助成する「三世帯同居等住宅取得助成事業」を実施し、家族の支え合いによる子育てしやすい環境づくりを進めてまいります。

◎自治体DXはデジタルの力で住民の利便性や職員の働き方を向上させる意味を持ちますが、今後どのようにDXを推進していくのでしょうか。

市長 本市では、令和4年3月に「新庄市デジタル化推進基本計画」を策定し、本年2月には、事業計画となる「新庄市デジタル化推進基本計画アクションプラン」を策定いたしました。

今後は、同プランにおける個別事業について、AIやRPAなどのデジタル技術を活用した市役所内部の業務改善や、市民の利便性の更なる向上につながるデジタル化を推進してまいります。

デジタル化を推進する上では、運用面や財政面、職員のノウハウやスキルの向上など様々な課題がありますので、デジタル田園都市国家基本構想推進交付金などの活用も含め、デジタル化の更なる推進に努めてまいります。

『酪農・畜産の灯を消すな』



佐藤 悦子 議員

◎2年前に比べて肥料も飼料も2倍、燃料代3割高という生産コストの暴騰で、牛乳を搾るほど赤字の酪農の状況だ。酪農・畜産への支援をどう考えているか。

市長 高騰する配合飼料価格の負担を軽減するため、国及び県の補助制度では補いきれない価格上昇分について、「配合飼料価格高騰対策支援事業」を実施しております。

なお、直近の配合飼料価格も高止まりが続いておりますが、畜産の安定的な営農の維持に向けて、国及び県の支援策の動向について、引き続き注視して

EU・アメリカの乳製品輸入量は1~2%
日本は38%

	消費量 千t	輸入量 千t	輸入割合 %
アメリカ	90105	2028	2.25
EU	147908	1905	1.29
日本	12321	4690	38.07

※アメリカ・EUは鈴木宣弘東大名誉教授試算（18~22年）
※日本は農民連試算（21年）いずれも生乳換算

◎新型コロナナ5類移行について、公的支援を縮小・廃止では、感染を抑止できないのではないかと。医療・介護事業所への財政支援の継続を求め、市独自の支援が必要ではないか。

市長 我が国において新型コロナウィルス感染症が感染拡大してから3年が経過しましたが、これまで住民の命と健康を守るべく、国・県・市及び医療関係者等と連携しながら、基本的な感染症対策の徹底はもとより、新型コロナワクチンの臨時接種についても安全かつ円滑に接種できるよう、全力で取り組んでまいりました。このたび、国においては、新型コロナウィルス感染症の感染症法の位置づけを季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」に変更する対応方針を決定しておりますので、今後、具体的な対応策が示されるものと考えております。

法的な位置づけが変更された後においても、ワクチン接種や医療については移行期間を設けて対応する方針が示されておりますが、更なる感染拡大や医療ひっ迫により、医療機関、介護事業所等の現場における混乱や住民への不安を招くことがないよう、激変緩和措置や財政支援の継続について、機会を捉えて国や県に要望してまいります。

務活動費の報告

資するため、必要な経費の一部として交付されるものです。

会派など	政務活動費 交付額	支出内容						⑦返納額	
		①調査研究費	②研修費	③広報費	④資料作成費	⑤資料購入費	⑥その他の経費		支出合計
市民・公明クラブ ※1 山科正仁 小野周一 高橋富美子 佐藤卓也	855,000円	157,120円	95,100円	253,110円			200,140円	705,470円	149,530円
起新の会 ※2 小嶋富弥 山科春美 庄司里香	720,000円	429,180円		222,618円		19,800円	48,000円	719,598円	402円
絆の会 ※3 奥山省三 下山准一 今田浩徳	720,000円	134,800円		180,840円			48,000円	363,640円	356,360円
勤草21 ※4 八嶽長一 新田道尋	540,000円			504,000円			36,000円	540,000円	0円
無会派 佐藤悦子	180,000円	8,550円	44,100円	94,438円		20,320円	12,592円	180,000円	0円

＜政務活動費の交付額について＞

「会派の所属議員数×月額15,000円×12か月」で算出した額が、各会派及び会派に属さない議員に交付されています。

＜支出内容の各項目について＞

①調査研究費：会派が行う市の事務や地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費 ②研修費：会派が研究会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会に参加するために必要な経費。 ③広報費：会派が行う活動や市政について住民に報告するために必要な経費 ④資料作成費：会派が行う活動のために必要な資料の作成に必要な経費。 ⑤資料購入費：会派が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に必要な経費。 ⑥その他の経費：上記以外の経費で会派が行う調査研究活動に必要な経費。 ⑦返納額：政務活動費に残額が発生したため市に返納する額。

※1 令和4年12月15日付で佐藤文一議員が会派を退会。

※2 令和5年3月17日付で石川正志議員が会派を退会。

※3 令和5年3月1日付で押切明弘議員が会派を退会。

※4 令和5年3月1日付で叶内恵子議員が会派を退会。

市民・公明クラブ

令和4年11月5・6日、東京都巣鴨地蔵通り商店街周辺で行われた「新庄まつりin巣鴨」に参加し、新庄市を全国にアピールしました。伝統行事の発信を契機として、交流・関係人口を拡大し、人口減少対策の一助になるよう提案していきます。

令和5年1月21日、3年ぶりに開催された「新庄ふるさと応援隊新年交流会」では、しんじょう観光大使も参加し、大盛況の交流会となりました。コロナ禍で顔を見合わせて話をする機会が減った今日ですが、「会えるイベント」の開催の必要性を強く感じました。

令和5年3月3日には、起新の会とともに市長に対し「政策提言」を行いました。若者の定住促進や農業振興、少子化対策の3項目について具体的な内容を提言し、その実現に向けて強く要望しました。



起新の会

その1

日時 令和4年11月4～6日

視察内容と視察先

①みどりの食料システム戦略の実現に向けて（東京都 衆議院第一会館）

②地蔵通り商店街アンテナショップ（東京都 巣鴨）

③新庄まつりin巣鴨

所感

持続可能な食糧システム確立に向けた国際的な機運の高まりを受けて、国においても抜本的な農業政策の見直しと捉えている。当市の農業問題解決に向けては特効薬ではないが、今後も国の施策が当市の農業振興に結び付くか注視していきたい。

その2

日時 令和5年1月20～21日

視察内容と視察先

①デジタル田園都市国家構想について（東京都 参議院会館）

②ふるさと応援隊新年交流会（東京都中央区）

所感

人口過剰にある都市圏から地方に移住させる計画について、概要から先行事例まで広範囲の研修となった。当市に当てはまる点として、地方移住や、地方にサテライトオフィスを設置した場合に補助金が支給されるなどの施策もあり、今後当市の施策に結び付けていきたいと感じた。



令和4年度政

政務活動費は、市議会議員の調査研究その他の活動に
会派別の収支と活動内容を報告します。

絆の会

コロナウイルス感染症対策に明け暮れた今年4年間でした。私たちの活動は各々の議員活動が一番であり地元地域から寄せられた声を受け止め解決に向けての検討、市長部局との折衝、実施へと皆様から叱咤激励を頂きながら取り組んで参りました。これからもこの姿勢を続けて参りますのでチェックよろしくお願い致します。

さて、会の活動を見ますと、制約された中で研修を試みましたが、相手自治体の受け入れ停止中の事情もあり当地に伺うての研修はできませんでした。しかしながら4年11月には県内の道の駅視察を行い、当市が取り組む道の駅構想と比較する機会を得ることができ、意見提案に繋げることができました。また5年1月にはふるさと応援隊新年会が3年ぶりに開催され参加して参りました。会って話をする。それだけでとても新鮮な気分になり人恋しさを身をもって確認できたと思えました。制限解除に向け世の中は動いています。まだまだ不安は拭きません。気をつけながら生活を営んでいきましょう。活動への理解に感謝申し上げます。



勁草21

市民対話集会を開催

コロナ禍に苦しめられた3年間です。議会も年2回行っていた議会報告会を中止せざるを得ず、市民の声を聴き、議会の議論の場に届けているのかと自問することが多くありました。このため、令和4年度は密を避けながら市民対話集会を会派単独で3回開催しました。

いずれの会場も市民から鋭い質問を受けました。とりわけ、道の駅については「なぜ2つか」「交通量が激減する所になぜつくるのか」「高速道路の十字路である地の利を活かすべきだ」など市の進め方と市民説明が少ない中で事業が進んでいることに強い不信感をもっていると感じました。聴く耳を持つ、当たり前前の姿勢がいま求められています。



無会派

佐藤悦子議員

新型コロナウイルス感染拡大の中でもあり、自宅オンラインによる自治体問題研究社の市町村議員のための講義を4つ受講した。

1. 8月19日、「危険、建築残土」について。講師は畑明朗（はたあきお）元大阪市立大学大学院教授、滋賀環境問題研究所所長。
 2. 8月22日、「自治体財政の基礎を押さえて財政危機の正体を知る」と題して、立命館大学の森裕之教授の講義を受けた。
 3. 11月24日、「社会保障の歩みと共同」と題して、立命館大学の芝田英昭教授の講義を受けた。
 4. 11月25日、「地域公共交通の氣息を超えて未来図を考える」と題して、金沢大学の西村茂名誉教授の講義を受けた。
- どれも、議会での質問に活かすことができました。



特集

今年度は、市内中学校のイベントを紹介しています。

目新中学校のイベント



【第1学年】市民スキー場でスキー授業を行いました。



【第2学年】地域貢献活動で除雪業者さんに感謝の言葉を伝えました。



【吹奏楽部】昼休みに体育館でミニコンサートを行いました。



【第3学年】総合的な学習の時間に学習した内容を1、2年生と地域の方に発表しました。

6月定例会の予定

5月29日(月)	請願締切
6月9日(金)	開会
12日(月)	一般質問 中継あり
13日(火)	一般質問
14日(水)	常任委員会
15日(木)	常任委員会
20日(火)	最終日 中継あり

開会は10時です ◇請願は随時受け付けております

議会の傍聴について

新型コロナウイルス感染拡大の影響が収束するまでの間、議会の傍聴の案内については、議会事務局にお問合せください。また、ホームページでも随時更新しておりますので、ご確認ください。



スマートフォン・タブレットでも
市議会ネット中継が視聴できます！



新庄市議会 中継

市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロア、市民プラザでも視聴できますので、ぜひご活用ください。

※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。

あとがき

この号が皆さんの手元に届くころには、新たな議員体制のもと議会運営が始まっていることと思います。信頼を背負って議席に立つ議員を温かく見守っていただけなら幸いです。さて、皆さんと歩んだこの4年間は新型コロナウイルスに影響を受け、行動が制約された中で過ごしてまいりました。四季の豊かさや日々の感謝を感じる事が薄れがちでしたが、これからはコロナ前の生活を取り戻し、人行きかう街のリスタートをしていきたいと思います。議会活動への理解、進言に感謝申し上げ、市発展とともに歩めますようよろしくお祈いします。ありがとうございました。

(記・今田 浩徳)

議会報編集委員の紹介

委員長 庄司 里香
委員 八鍬 長一
委員 今田 浩徳
委員 山科 春美